



生命尊重推進の会 天使のほほえみ

会報 第14号
イラスト © あべまりあ

発行所
NPO 法人 天使のほほえみ
発行人 鎌田久子
編集人 福島 紀

一泊研修会成功に向けて 理事長 鎌田久子

霊峰富士を仰ぎつつ 確固たる使命に燃えよう

頭を雲の上に出し
四方の山を見下ろして
かみなりさまを下に聞く
富士は日本一の山
(作詞 巖谷小波)

平安時代に、修験者が修業の場として選んだ富士の山麓、四季の移り変わりとも相まって、その姿が、あまりにも神秘にみちて美しく、信仰の対象として崇められてきた…霊峰富士…。

中腹の森林から運ばれてくるフィトンチッド(森林芳香)を胸いっぱい吸いこむことで、免疫力が高まり、結核、喘息も癒され、ガンを死滅させるナチュラルキラー細胞が活発化します。

早朝「六根清浄」「六根清浄」と唱えながら、やがてお日様が、富士のすそのから静かに登りはじめると、「あゝ、地球は生きて動いている。私たちの生命も、大いなる不可思議な方によって、今ここに生かされている。」と、「乗光の『ひかり』に照らされてすべての苦しみ、悲しみ、怒りが、残らず消

え去り、なぜか涙があふれてまいります。やがて、富士山頂に大きな日輪が照り輝くと、「天晴れ！あな面白う、あな手伸び、あなさやけ、

魂が躍動する 「一泊研修会」のお知らせ

霊峰富士のもと、

真理の研鑽に励み、身も心も新生し、天皇国日本に生まれた幸を深くかみしめましょう。皆で心を合わせ、全国のお腹の赤ちゃんを守る運動を、一歩一歩力強く進めてまいりましょう。

懐かしい文部省唱歌・愛唱歌を歌い、ハツラツと十才若返り体操も致します。

一楽しき二杯、悦びいっぱい、「世直し国おこし 天使のほほえみ一泊研修会」にぜひ参加下さい。

日時・九月四日～五日 場所・国立中央青少年の家 (詳細は別添チラシを参照し参照下さい)

おけ！」と、大声でとなえます。研修会当日・解説 古代の祖先が、天を仰ぎ高らかに称揚され、古事記にも出てくる言霊をとなえてから始める講義に心がおどります。

者主員の誕生月を祝福する、楽しい歌を「そして、日本一の富士山を前にして、使命に燃える歌―我等愛す。若人の歌。沖縄に捧げる歌。―赤ちゃんの健やかな誕生を祝福する歌―などを高らかに歌います。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

「ふじの山」の二番の歌詞には「からだに雪のきもの着て」という一節があります。真白に、厚く積もった雪が、春から夏にかけて、地中に溶け、夾雑物を濾過して地中のミネラルをたっぷり含んで湧出する「富士の水」は国立中央青年交流の家では飲み放題です。また、講義の前後には崇高な日本国家を愛し、讃える歌を！参加

お友達をお誘い下さい

年会費 個人 正会員 二千元以上
賛助会員 五千元以上
篤志会員 一万元以上
法人 一口 五千元以上

郵便振替口座
00100-6-316987
天使のほほえみ



(住所変更の際は是非ご連絡下さい)

「日本も永遠な 尊い命を大切に

参議院議員 山谷えり子 先生
「天使のほほえみ」顧問

講演内容の要旨

(文責・野田富美子)

ません。

私の三人の子どもたちも性教育の犠牲者です。

・コンドームのはめ込み授業を受けた。「コンドームをしたら、セック
スしても安心よ」

・助産師さんの勉強する出産シンの生ビデオを、無理やり中高生に見せる。泣き出す子もいる。中には「出産つて、きもーい(気持ち悪い)」と言
う子もいる。

世界で一番尊い人間の誕生に対し、そのような先入観を植え付けてい
ます。

文科省は、村山政権時代に日教組が入り込んで、特に左傾化が進んで
しまっています。

刑法では「中絶は罪」となってい
ますが、「母体保護法」ができ

て『経済的理由』と言えは罪が問わ
れなくなりました。他の議員に言っ
てもピンときません。

古来日本人は優れた直観を持つ
ていて、生命がお腹の中で芽生えた
ときから『数え年』が始まり、生ま
れた時は一才になります。人は『命
(みこと)』として、互いを神の子
供として尊んできました。

「国というものはいらぬ。法律
婚もいらぬ。」「参政権を外国人
にもあげよう。家族は解体させる。」
という国家破壊が民主党です。それ
に対し、国を守る運動を皆さんで真
剣にやっつけていきましょう。

—山谷先生、参院選高位委員選おめ
でよう、さいます。本当にお疲れ様
でした。

「天使のほほえみ」の運動への思い① 今日ほど生命尊重運動を

強く求められている時はない

三鷹市議会議員

吉野 和之

私達はまず現在日本の置かれ
ている状況が、明治維新・大東
亜戦争敗戦時と同様、日本史上
最大級の危機的状況にあること
をしっかりと認識する必要があります
と考えます。今回の参院選で
民主党の単独過

半数という最悪の事態は、一先
ず回避することはできました。
しかし政権与党の「民主党は国
家・国体破壊を目的とする政党」
であることは厳然たる事実であ
り、恐ろしい新左翼的体質を持
っている事を

天使のほほえみの皆様は既に「ご
承知と思いますが、残念ながら
ほとんどの国民が知らないのも
事実であります。

さて、私自身紛争まったただ
の都立高校・早稲田大学で学び、
学園紛争を身をもって体験致し
ました。北朝鮮や中国が理想の
国とされ、チュチェ思想や文化
大革命が新左翼に絶賛されてい
ました。この新左翼は、戦後社
会が必然的に生み出した膿であ
ると思います。

占領憲法を根底にした戦後教
育により「戦前の価値の最も大
切な部分が否定され、連綿と続
いた国体も破壊することが必要
との考えが教え込まれて」きま
した。私自身学校で戦前の価値
観の素晴らしさを教えられた記
憶はなく、現憲法の空疎な普遍
的価値理念こそ人類普遍の価値
と教え込まれました。

私もかつて学習塾を経営し、
子供たちの純真無垢さ、可能
性・能力の驚くべき素晴らしさ
を知りましたが、一方では子ど
もたちは教え方を一歩誤ると全
然間違った方向に走ってしまう
危険性も感じま

した。純真無垢な子供たちが、
戦後の一方的な価値観を押し込
まれ、生きていく上で最も大切
なものを知らされずに育って、
各自の使命感も愛国心も希薄に
なり、やがて国全体が崩壊して
いく危険性ははらんでいます。

学園紛争の延長線上にあるの
が現在の民主政権です。民主党
INDEX2009 を見れば明らかで
すが、表のマニフェストには
ほとんど書かれておらず大多数
の国民は全く知りません。新潮
四五に「枝野幹事長が平成八年
衆院選立候補の際、左翼過激派
の革マル派幹部なる人物と『推
薦に関する覚書』を交わしてい
た」と書かれたのは氷山の一角
であり、民主党と新左翼勢力と
の結びつきは極めて根深いもの
があります。

(以下三面上段へ続く)



(二面下段から)

民主党は、「国家破壊の意図を隠して政権運営を行う偽装政権である」と考えます。特に菅首相は、「自称市民運動出身の政治家であり、歴史上初めて登場した筋金入りの新左翼の体質を底流に持ち、国体破壊を明確な政治目的としている首相」なのです。(鳩山首相にも充分その傾向がありました)が、自民党出身であり鳩山家も保守政治家の家系であることから、新左翼勢力に利用されていた面もあると思います。)

今日ほど、真の生命尊重の「天使のほほえみ」の運動が求められている時代はありません。

「天使のほほえみ」の運動への思い②
水子さんの悲しみを感じて下さい

東京都 H・T (匿名)

私は「天使のほほえみ」の運動を知り、この様な運動の発案者の皆様に深く感動いたしました。戦後増えている中絶児が少しでも減ってほしいと思っていたからです。

最近、日本人として唯一マザーテレサの写真撮影を許されていた写真家とお会いする機会が

せん。

戦後の誤った唯物論の完遂を目指す現政権を打倒し、先人より受け継いだ素晴らしい歴史・文化・伝統を守り抜くために、保守勢力を結集することがぜひとも必要です。民主政権の誕生により、保守勢力はいわば自壊作用の中にあり大きな試練を受けていますが、これを越えていくことにより真の保守勢力が再興し、真の国体の再興が初めて可能となると考えます。

その新たな潮流を造るためにも、その核としての生命尊重の運動に邁進していくことこそ、吾々の使命であると確信しています。★

私は「天使のほほえみ」の運動を知り、この様な運動の発案者の皆様に深く感動いたしました。戦後増えている中絶児が少しでも減ってほしいと思っていたからです。

最近、日本人として唯一マザーテレサの写真撮影を許されていた写真家とお会いする機会が

現代の日本は憲法の表現の自由

その後は「過激な性教育」などのために、芸能人などが率先して『試してから入籍し、結婚』するためか、身近な若者まで同じようにして、何とか結婚してくれてやっとなとホッとするケースが多くなってきました。

「正しい結婚のあり方」「純潔教育」のやり直しをしなくてはなりません。女性は自分の身体を大切にしたいと思えます。望まぬ妊娠をして中絶をすることのないように。私事ですが、三人の子供を妊娠し、第一子は無事出産しましたが、二人目、三人目は自然流産してしまいました。

二人目の後七年間、膀胱炎(水子の悲しみか)のようになり体調不良で苦しみ、医学でも治らずにいた時、天台宗の高僧に会い、「水子が成仏していない、供養しなさい。」と言われました。供養の結果一度で成仏してくれたらしく、すっかりよくなりました。

しかし三人目を流産した頃、多忙を極め、形だけ供養した結果、半年間不安に襲われ、暑いのに寒く、道も真っ直ぐ歩けない状態でした。その方に伺うと「真を込めなかつたね」と言わ

れました。もう一度供養をやり直し、「成仏したら教えて下さい。」と地蔵様に頼んだら、夢で教えてくれました。

この供養法は、参考に申し上げますと、自刃家から東南方面に地蔵尊を捜し、そこで初めの日に

二本の菊を供え、毎日水一杯・小さなおにぎり一個・線香二本



「天使のほほえみ」の運動への思い③

良き家庭には良き子が育つ

千葉県 酒井 京子

家の庭に雀がやってきます。二羽の雀の内、一羽はとても臆病のようで、餌場から離れた野菜の影にいます。パン屑を衝えた方の雀が、突然トントンと畑の雀に近寄って、なんと口移しで餌を与えるではありませんか。その可愛らしこと！。幾度も繰り返される口移しの給餌に、雀で

すらも親とはかくあるものかと感動致しました。(以下四面上段へ続く)



備え、七日間真剣に水子の成仏を願ってお詫をする行です。日参時、心から水子の悲しみを感し、心から託びることが出来るまでお祈りして、一日の終りとなります。自然流産でも真を込めるのは真剣な行です。中絶児は言わずもがなと思います。水子は母親の真心がほしいのです。水子の悲しみはいろいろな表われ方をします。ぜひ真心から供養して下さい。

一靈牌二柱百円で、ねんごろに供養して頂けるところがあります。天使のほほえみハッピー子育てのすめ(日暮野子キフト) p.92を参照下さい。

編者 注

(三画下段か)

「動物の子供は『危険』から親が子供を守ることで、初めて自分で(危険から)逃げたり、餌を探したりすることが出来るようになる。こうした段階を踏んで親子の信頼が生まれ、自信や知性が身に付くのです。怖いときにだれも保護してくれない、となったら逆に自立は出来ないし、知能も発達しませんよ。」(上野動物園・古賀忠道)

次男はニューヨークの国連本部で仕事をしております。三ヶ月前までアフガニスタンにおりました。大学で「開発経済」を学んだので、アフリカ・インドはそのためと思っておりますが、「アフガニスタン?!」余りに危険な処ではありませんか。本人澄まして「紛争解決だよ」と言います。アメリカの大学院は「紛争解決専攻」だったんだ!。少し心配な私に、「僕はたっぷりの愛情で育ててもらったので、何があっても大丈夫だよ」と息子は言ったのです。私の子育ては甘くなかったはずです。私も命がけでした。

例えば、大学時代次男が隠れて髪の毛を染めてきた時 私「日本人として黒髪を大事にできないのなら、坊主にするか、(夏だったので)むしろ持つていって一週間神社の境内で寝泊りしないか。」と真剣に言い、子供がむしろを持つて出て行くとしたとき、あわてて主人が止めに入った事があります。また自立心を育てるため、遅刻しても絶対起こさない。朝ごはんは絶対食べさせるなど決めていました。

私はいつも「子供の心の中に何が育っているのか、何を私は育てたいのか。」を中心に、子供と真剣勝負をしてきました。古賀先生のお話から、動物

議員訪問活動の「報告

副理事長 野田 滋美

五月二十日(日)の総会並びに山谷えり子先生講演会の実施以降での、議員訪問等の活動報告をします。

その前に、七月十一日の参議院選挙では日本の革命を狙い、日本の力を弱め国家解体を推し進めている民主党が四十四議席と単独過半数に遠かに及ばない

も人の子も自立までの道程に愛情は欠かせないものと確信致しました。

良き家庭に良き子が育ち、良き国を支えたいと信じます。「良さ」「心映え」は目には見えません。目には見えなくとも在り、いづれ大きな現実となるもの、大切な「生命」もそうですね。無限の可能性を秘めた胎児の生命を守る運動を応援します。物質の豊かさでは子供を壊します。愛育。にお金は要りません。さあ、たっぷりの笑顔で子供を見つめましょう。

大敗をし、自民党は五十一議席と議席を大幅増加させました。私達の顧問の山谷えり子議員は高位当選を果たされ、大変喜ばしい結果になりました。山谷先生、おめでとございしました。これで衆参ねじれ国会となり、民主党の強権ゴリ押しによる国家解体法案の成立は少し遠くなりませんが、参議院での法案個

別協力による成立もまた残されており、決して予断を許さない状況は変わっていません。これからも保守系の私達は衆議院総選挙ができたけ早く実現し、真正保守の政府が日本に誕生して、憲法、教育、防衛外交、経済、財政、日本解體法案完全廃棄、言論正常化、出産人口増加策等の改善、改定をして頂く事を夢見て、地境草莽の活動を進めて行かねばなりません。

さて、活動状況のご報告を致します。

- ①七月八日に山谷えり子先生応援の日本女性の会の講演会があり出席しました。
- ②七月五日に理事会において、九月四日(土)、五日(日)の全国幹部会員一泊研修会の開催を決定し、案内チラシの作成し、これから案内をして行く事になります。
- ③ここへ来て、子宮頸がんワクチンの十一才から十四才の少女への公費による強制接種の問題が出てきて、そのワクチンの添加物の副作用による不妊・脳障害・ガンになる可能性が色濃くあるものであり、又まだ不妊剤添加の確定はされていませんが日本民族絶滅の可

能性もあり、反対運動を起して行く必要があると考えています。七月二十二日に議員会館にて、平沼赳夫先生、安倍晋三先生、山谷えり子先生、高市早苗先生、稲田朋美先生、野田聖子先生、三原じゅん子先生、長妻昭厚労働大臣の事務所を訪問し、それぞれ秘書の方にそのワクチンの危険性を訴え、資料を渡して公費による接種強制を中止してもらおうように訴えました。(同封のコピーをお読み下さい)



天使のほほえみ